

5 月末まで緊急事態継続…

医療現場に「コロナ」対策支援の奉仕プロジェクトを！

国際ロータリー第 2790 地区ガバナー 諸岡 靖彦

7 都府県に「緊急事態」が宣言されて、今日で 1 カ月たちました。政府は 4 日、新型コロナウイルスの感染拡大の緊急事態宣言を、全国で 5 月 31 日まで延長しました。千葉県を含む東京、大阪など 13 の「特定警戒都道府県」は感染拡大が深刻であるとして、外出自粛や休業要請はこれまで通り維持されます。

県内の一部地域で、県の要請にこたえず遊戯施設の営業をつづけた事業者がありました。安心・安全・安定な社会を享受する権利は、その表裏をなす義務としての自粛や休業の要請にこたえることで担保される、という意味を理解しない恥ずべき行動と断じなければなりません。今後は、コロナ終息のための特效薬の投与がもれなく進むまでに「医療崩壊」が起こらないように、医療現場の態勢を整えるための長期戦に入ります。ロータリアンとしてこれにこたえ、支援の行動を起こすよう、強く推奨します。

既に 4 回に亘る月信号外でロータリーの活動について発信しておりますが、閉塞期間が長引くことが予想されますので、今号外では改めて地区内ロータリアンの皆様に呼びかけるものです。

この期間のロータリーの会合は原則として、人が集まる形式のものは控えるべきです。クラブ会長や地区委員長が必要な会合であると判断した場合は、密閉、密集、密接の 3 密を回避して、マスク着用、手指の消毒体制を整えて、限られたメンバーで、短時間の会合とするべきです。例会の緊急時の休止は、クラブ理事会の議決を以って、定款の規定の範囲を超えた柔軟な決定を許容します。

こうした判断から、4 月 29 日の地区研修・協議会は会長エレクト研修セミナー (PETS) 2 回目の開催を兼ねて、インターネット上の You Tube 映像によるオンライン・セミナーの方式で実行されました。これ以降の今年度の最終月までの事業や催しはすべて中止と致しました。

従来とは設定の違うスタイルで 3 大セミナーを終えて、クラブや地区は次年度への移行の段階へと進みます。周囲は誰もが思ってもみなかった無人の街となりました。ここで大切なことは、時のリーダーの存在です。「ロータリーの灯」を灯しつづけてください。

思わず盛唐の詩人・杜甫の「国破れて山河あり、城春にして草木深し」の一節(注 1)がふと浮かびました。でも、長安の都が戦乱に破れたのは明らかに事状は違うのです。政府は疫学や医療専門家の科学的知見を総動員して、ウィルスのこれ以上の蔓延を抑えることに成果を上げつつあります。外電が伝える欧米のような死屍累々たる惨状にはありません。

国も自治体も破れてはいないのです。リーダーに「ロータリーの灯を消してはならぬ」の心意気があれば、そしてコロナに奪われた平穏な暮らしを取り戻すための、「惻隱(そくいん)の情」(注 2)があれば、ロータリーの存在意義は After Korona の世にこそ、必ずや求められるものです。

さて、感染が蔓延するスピードを遅らせるのが行動の自粛や休業ですが、特効薬の開発が整い、免疫化が進むまでの段階では治療に当たる医療体制の対応能力こそが問われます。コロナに襲われて病院に運ばれた重症患者には手厚い治療や看護が必要です。重症者が増える中で、病床、感染を防ぐ防護服、医療用マスク、ICU(集中治療室)、人工呼吸器が足りません。何より医療スタッフが足りません。医療崩壊寸前の状況がつづきます。医療現場スタッフの必死の対応には感謝の言葉以外ありません。医療現場にエールを送り、支援の手を差し伸べることが求められています。

そこで、医療従事者（もしくは感染者の看護者など）が感染を免れるための防護具、**フェイス・シールド**(注 3)を医療現場に寄付援助しようと言う奉仕プロジェクトを立ち上げることに致しました。今年度の同期ガバナーの間で既に各地区で進められている事業に加わって、現品を医療機関に提供し、医療現場で活用していただきます。愛知県(第 2760 地区)のロータリアン企業が病院の指導のもとに@100 円という安価なフェイスシールドを開発し、ROTARY のロゴを付けて製品化して、全国に供給しています。今年度の地区奉仕事業としては最終事業となります。地域社会の医療態勢をチェックしてください。医療現場以外でも、検査や看護、老人養護施設など感染予防が必要な場面で活用できるものです。クラブのご参加を歓迎いたします。

まずは地区ガバナー事務所に ご一報ください！

(注 1) 中国唐の玄宗皇帝の西暦 755 年、安祿山の乱で長安の都は破壊され、春の草花が萌え立つ自然を前に、人間の行為のはかなさと自らの老いを嘆き、不安と絶望を詠んだ詩聖・杜甫の有名な詩。

(注 2) 孟子の性善説(人はみな善なる性を持ち合わせて生まれる)の 4 つの根拠のうちのひとつで、人を憐れむ惻隱(そくいん)の心。幼児が井戸に落ちようとしているのを見かけたら、誰しもためらうことなく幼児を助けるだろう。何の見返りを期待することなく、この幼児を助けたいと思う「人に忍びざるの心」は万人に生まれながらに備わったものである、とする考え方。人間を本来的に信頼すべき存在だとする孟子の思想を示している。

(注 3) **フェイスシールド**とは、個人防護具の一種で、飛び道具、がれき、化学飛沫、感染性物質などから顔面全体を守ることを目的としたもの。